

甲賀地域で公共ライドシェア実証運行

甲賀町全域で1月26日から9月まで

運行エリア図（区域型）



現在土山地域で運行されている甲賀流公共ライドシェア（自家用有償旅客運送）が、甲賀地域での導入を見据えて、1月26日より9月30日まで実証運行されます。

甲賀地域を大原エリア、油日エリア、佐山エリアの3エリアに分け運行されます。土山と同様1エリアの乗車に250円の運賃、エリアを超えて移動する場合、2エリア

（例えば佐山エリアから大原エリアまで）で500円、3エリアで750円の運賃がかかります。但し、甲賀駅、油日駅、甲賀地域市民センターへ行く場合は250円となります。本来75歳以上はコマバスは無料ですが、ライドシェアの場合、無料は適用されません。

本共産党議員団は、市が運行主体であり、無料にすべきと求めています。

甲賀市は、将来にわたり安定的かつ持続可能な下水道事業の運営のため、下水道使用料のあり方、料金の改定について、令和7年8月に甲賀市下水道審議会に対し諮問を行いました。その後5回にわたり審議会が開催され、このほど意見がまとまりましたとし、21日の産業建設常任委員会にその内容の報告がされました。

使用料は2段階的に分けて引き上げる予定ですが、全体で30%の引き上げになります。4人家族の平均的な世帯の場合、第一段階では年間7200円の負担増、第二段階では年間12600円の負担増になるとのことでした。物価高騰のもとでの下水道料金引き上げは、市民生活に影響が大きいのではないかでしょうか。



日本共産党滋賀県委員会は19日、衆議院滋賀選挙区の候補者を発表、3区候補に、前栗東市議（2期）の伊吹ゆう氏を擁立しました。伊吹ゆう氏は、「アメリカなりで、国民に対しては社会

党利党略、大義なき解散・総選挙 軍備拡大ではなく、暮らし最優先の政治を 衆議院滋賀3区候補に伊吹ゆう氏（前栗東市議）

保障を削減し、物価高騰対策に無策の自民党政治にきっとノーの審判をくだすチャンス」と力を込めます。突然の解散・総選挙は高市政権の行き詰まりの現われです。日本共産党的躍進暮らし・平和を守りましょう。

水と緑

産業廃棄物処分場建設設計画

みんなで考えるシンポジウム

日時：1月25日(日)10時～

場所：みなくるプラザ 鹿深ホール

◇主催：日本共産党甲賀市議員団

南土山地先に建設予定の安定型産業廃棄物最終処分場計画は、県の認可に向けて環境影響調査など手続きが進められていますが、建設予定地は野洲川上流であり、野洲川の水を生活水として利用している下流域住民の方からは、水質汚染に対する不安の声が広がっています。地元住民の方からは、自然環境や生活環境に大きな影響が出るのではないかと心配の声、豊かな自然を子や孫に残すためにも計画を止めて欲しいという声も。

県内最大規模の産廃処分場が本当にこの地に必要なのか、みなさんと一緒に考えたいと思います。パネラーからの報告のあと、参加者のみなさんの意見交換も予定しています。

下水道使用料値上げへ 令和9年5月から段階的に引き上げ

甲賀市議団ニュース

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2026年 1月25日 第568号

